

会 議 記 録

政策企画局 まちづくり協働課

開催日	平成 23 年 2 月 16 日(水)	開催時刻	9 時 30 分から 12 時 00 分
会議名	上田城南地域協議会(平成 22 年度第 11 回)		
出席者	田中会長、宮島副会長、荒井委員、荒木委員、石井信子委員、岩木委員、上原委員、金井委員、木内委員、竹田委員、玉井委員、西川委員、堀内委員、宮崎委員、山浦健太郎委員、山浦正嗣委員 (欠席委員)石井孝二委員、石坂委員、清水委員、西沢委員 (事務局)山崎まちづくり協働課地域振興政策幹、 林まちづくり協働課課長補佐、堀内まちづくり協働課主査		
会議次第			
1 開会(山崎まちづくり協働課地域振興政策幹)			
2 会長あいさつ 前回の地域協議会では、地域まちづくり方針の見直しということで議論いただいた。先日送付された城南地域、地域まちづくり方針案を皆さん見ていただいたと思うので、本日は最終として議論をまとめたい。また、わがまち魅力アップ応援事業についてだが、次回の地域協議会で審査をお願いするようになる。皆様のご関心を高めていただきたい。よろしくお願ひしたい。			
3 会議事項			
(1)「地域まちづくり方針」の最終案について 資料:「上田城南地域 地域まちづくり方針(案)」事務局から説明 まちづくり活動拠点の整備 【主な意見等】 会長:見直し後のまちづくり方針について、皆さんご意見ありますか。 についてはよろしいですね。 「上田 道と川の駅」を活用した地域振興と地域防災拠点づくり 【主な意見等】 会長:広域幹線道路網という言葉が入っているが、この表現で皆さんはわかるのだろうか。 事務局:城南地域では、143号、18号バイパス、塩田方面に行く築地バイパス等、地			

域間を結ぶ広域的な幹線道路になる。同じ道でも、18号バイパスが、途中からは県道のバイパスになっているものもあり、路線名ではわかりにくい状況にあり、抽象的な表現の方がいい面もある。

委員： の「人や自然にやさしい交通機能の整備」と、重なっているように思うが、どうか。

第一分科会： 18号の坂城バイパスは建設が終わっているので削った。もう1つ公共交通網の整備については、道の駅を起点にして循環バスを通すなどの考えがあり取り入れた。

事務局： は道と川の駅を拠点として、そこに入ってくる広域的な道路の意味合いで広く捉えた。 は具体的な交通機能の整備が重点なので、個々の路線に着目をした記載になっている。

委員： タイトルから考えると、道と川の駅の賑わいの創出が先にきて、次に広域幹線道路網についての文言を入れた方がいいのではないか。

人や自然にやさしい交通機能の整備

【主な意見等】

委員： 「地域交通の要となる別所線の利用を促進させ、」とあるが、「促進し、」でいいのではないか。

会長： 別所線に一言「電車」と入れなくてもいいか。上田交通のバスに別所線は無いが。

事務局： 別所線の関係は、上田電鉄さんに確認させていただく。

地域医療体制と保健福祉施設の整備

【主な意見等】

委員： 「宅地化や人口の集中化が進んでいる」のところ、「人口の集中が進んでいる」の方がいいのではないか。

委員： 「千曲川左岸地域の中でも」の表現で、広域の組織の中で、城南地域だけで考えず、広い意味で捉えたほうがいいのではないか。

事務局： 3年前にこのまちづくり方針を作ったときには、上田市の中では右岸地域は人口の減少傾向にあり、左岸地域の人口が増えている傾向にあったと思う。とりわけ城南地域は人口が増えていたのでこの書き方になったと思う。

委員： 「千曲川左岸地域の中でも」を「城南地域」とした方がいいのではないか。

地域で子どもを育てるまちづくり

【主な意見等】

委員： 「学校・家庭・地域」と並んでいるが、教育の主体は家庭であること、ここは地

域協議会であることから考えると、「家庭・地域・学校」の順の方がいいのではないか。

会長：児童館・児童センター・こども館・学童保育所を含めて、十分整っているのか。

委員：先日の資料では整っている感じだ。

会長：登校拒否や引きこもりなどの子ども達への、相談機能はあるのか。城南地域としては、そのことに取り組む内容が欲しい。

事務局：現在は、教育相談所があり、学校の中でも相談機能はある。

委員：相談窓口としては、健康プラザがある。そこには教育相談所の機能もあり、保育園から学校までの子供たちに対応できるしくみがある。城南としては、保育園の中に子育て支援センターの機能を持っているので、文言を加えた方がいいのではないか。

委員：この文章の中に「子育ての不安解消」と入っている。その上で、「支援拠点整備を目指します。」となっているので、すでにまとまって入っていると思う。

会長：現実に登校拒否の子供達の問題で、上田市が経済特区で行っているさくら高校がある。たいへん効果があり、評価をされている。地域協議会としては、地域の持つ特性をプラスに転ずるようなきっかけがあるならば、果敢に取り組むのが任務だと思う。

委員：「互いに顔が見える地域づくりを進めます。」というところで、地域づくりの前に「あたたかい」か、「やさしい」を付け加えてはどうか。

自然との共生を目指す里山の再生と農地の保全

【主な意見等】

委員：「優良農地が保全されている地域もありますが、」の部分は要らないのではないか。

委員：一生懸命農業をやられている方に対して、この文言を抜いてしまうと失礼な気がするので、このままでいいと思う。

歴史的・地域的資源の保全と活用

【主な意見等】

委員：「これら貴重な遺産『地域の宝』に触れる機会」のところだが、「これら『地域の宝』としての貴重な遺産に触れる機会」にしてはどうか。

第4分科会：「貴重な遺産」イコール「地域の宝」ということでこのような書き方にした。まちづくりマップなどを作成し、小中学校の生徒に配布して、地域を歩きながら貴重な遺産に触れる機会を作る。公民館でも講座を開講するなどできる。

委員：「これら貴重な遺産である『地域の宝』に触れる機会」としてはどうか。

委員：「いきいき生活できる地域」を「いきいきと生活できる地域」に変えた方がいい。

(2) わがまち魅力アップ応援事業の審査について

資料：「23年度個性あるふるさとづくり事業一覧表」

「23年度特色あるまちづくり事業一覧表」

「平成23年度上田市わがまち魅力アップ応援事業補助金交付審査調書」

「特色あるまちづくり応援事業（市民活動団体対象）選考要領」

より事務局から説明

【主な質疑】

委員：自治会からの新規の申請は2件ということか。

委員：申請した金額より安く上がった場合、どのようになるのか。

事務局：最初に補助額の8割まで前払いでお支払いすることが可能になっている。事業を進める中で、最終的に清算したら前払い分よりかからなかった場合、残りは年度末にお返しいただく。翌年度も継続する事業であっても、年度ごとに清算しているのでお返しいただき、翌年、再申請していただき、事務局で審査をして補助額が決まる。

委員：年間予算は今年も全体で4,000万円になるのか。

事務局：上田市全体では5,200万円近くを予定している。基本的には地域振興事業基金の運用益を財源に充てているが、今まで4,000万円使い切っていない為、それを繰越で持ってきている。丸子・真田・武石は合併前に持っていた地域振興のための基金を取り崩し、魅力アップ事業の財源として300万円～400万円を別枠で加算している。

委員：年度の途中で追加募集を受付するのか。

事務局：各地域全部で予定額を下回っていれば、追加募集することもあると思う。地域ごとの予定配分額からでは判断は出来ない。

会長：自治会の関係で、今年度の新規事業が2つというのはどうなのか。城南地域協議会として、PRが足りなかったのではないか。

委員：他の協議会はどのくらいになるのか。

事務局：今までは城南地域が多い方だったが、今年の申請は少なかった。逆に多くなった協議会もでてきている。

会長：城南地域協議会の地域力・市民力を高めるのに、支援事業は効果がある。

委員：2月締め切りというのは作業が忙しい。

事務局：4月から募集を始めると、実際に補助事業に着手できるのは6月や7月になってしまう。4月から着手できるようにということで、事務的な仕事を前倒しした。3月中に採否を決定し、新年度早々に補助金の交付申請を出していただき、交付決定をすれば、すぐに概算で補助金を前渡しできる制度となっている。

会長：自治会は1年任期で役員交代を行っているので、事業を取りまとめ申請までもっていくには、そのときの役員さんでは動ききれない。

事務局：この件については、他の地域の状況を聞きながら、来年度の見直しを図る中で検討していきたい。

委員：当初、原則として1自治会1案件という縛りがあったが、そこはどうなのか。

事務局：現在も同じだ。240自治会全部が出来るかどうか分からないが、すべての自治会で1回は参加して欲しい。ひと回りしたところで2回目をどうするか、制度の見直しを含めて考えたい。

委員：自治会長さんは1月から切り替わるところが多い。1月から新規の事業を考えるのならば、2月に応募するのは無理がある。秋くらいに自治会単位で、わがまち魅力アップ応援事業に対してのアピールをしてみてもどうか。

事務局：城南地域の19自治会のうち、すでに9自治会がわがまち魅力アップ応援事業に申請している。申請の内容を見ると、単年度で考えて提出してきているところは少ないと思う。

委員：関係者に集まっていただき、簡単な説明会を設けていただくとありがたい。

事務局：自治会の方々には3月総会があるので、その場で魅力アップ応援事業のご説明をし、他にも補助金があるので、1冊にまとめたものをお配りしている。

委員：今回はプレゼンテーションだけで、報告会は無いか。

事務局：去年は同じ日に報告会とプレゼンテーションを行ったが、4月以降に改めて行いたいと思う。

(3) 分科会の編成について

【主な意見等】

会長：皆さんには4つの分科会に所属してもらっているが、分科会の人数が多少違っている。このままでいいか。

委員：第3分科会は課題も多くあるので、人数が多くてもいいのではないか。

委員：4月から変わる委員さんもいるので、分科会について説明をしていただきたい。

事務局：自治会連合会の関係が変わり、PTAも役員が変わるので変更がある。

会長：今度変わられた方が、分科会の所属に対して問題なければ継続していただく。では、今のままの構成にしたいと思う。

(4) その他

4 連絡事項等

次回会議開催について

平成23年度3月16日(水) 開催予定

5 閉会